

# スポーツを基軸とした 企業による新たな価値創造のポイント

～2020年オリンピック・パラリンピックを見据えたイベント、ツーリズム、まちづくりによる企業価値創造の取り組みポイント～

- 日 時■ 2016年 9月7日(水) 13:30～17:00
- 会 場■ 企業研究会セミナールーム(東京・麹町)
- 講 師■ 早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授 原田宗彦 氏

【講師紹介】1954年大阪府出身。京都教育大学教育学部卒業、筑波大学大学院体育研究科修了、ペンシルベニア州立大学大学院体育・レクリエーション学部博士課程修了。フルブライト上級研究員(テキサスA&M大学)、大阪体育大学大学院教授等を経て現職。スポーツに関する様々な現象をマネジメントすることをテーマとして、ミクロな視点から、スポーツ消費者行動を取り上げる一方、マクロな視点から、都市やまちにおいて地域イノベーションを誘発するスポーツの機能に関する研究を行っている。日本スポーツツーリズム推進機構(JSTA)の設立にも尽力された日本におけるスポーツツーリズムの第一人者。主な公職に、日本スポーツマネジメント学会会長、日本スポーツ産業学会理事、東京都スポーツ振興審議会委員。

## ◆ 開催にあたって

スポーツを資源と見なして、イベント、ツーリズム、まちづくりに展開する地方自治体の取り組み事例が近年、注目を集めています。こうした流れを受けて、企業においてもスポーツとの関係性を見直し、CSR的な側面だけではなく、事業に貢献する関係性の構築、新しい価値創造が課題となっています。

本セミナーでは、まず企業がスポーツに関わることの新しい方向性について解説したうえで、スポーツイベントをテコとした価値創造のポイント、スポーツツーリズムをテコとした価値創造のポイント、スポーツマーケティングの発想、2020年オリンピックを見据えた企業の事業対応などについて、国内外の事例を紹介しつつ解説します。

《プログラム詳細は裏面をご覧ください》

## ●受講料●1名(税込み、資料代含む)

正会員	32,400円 本体価格 30,000円
一般	35,640円 本体価格 33,000円

- 申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAXいただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- 申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
- 会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。
- お申込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますので、お申込者をご出席できない場合には、代理の方のご出席をお願い申し上げます。
- 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますことありますので、ご了承下さい。

一般社団法人企業研究会

担当：倉島 E-mail: kurashima@bri.or.jp  
〒102-0083  
東京都千代田区麹町5-7-2 麹町31MTビル2F  
TEL 03-5215-3515 FAX 03-5215-0951

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局行 FAX 03-5215-0951

\*当会ホームページ(<http://www.bri.or.jp>)からもお申込みいただけます。  
\*FAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

161359 - 0104		2016.9.7	
申込書 スポーツを基軸とした企業による新たな価値創造のポイント			
会社名	フリガナ		
住所	〒		
TEL		FAX	
ご氏名	フリガナ	所属 役職	
Eメール			

\*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

# スポーツを基軸とした 企業による新たな価値創造のポイント

～2020年オリンピック・パラリンピックを見据えたイベント、ツーリズム、まちづくりによる企業価値創造の取り組みポイント～

9月7日(水)

● プログラム ●

13:00

## 1) 企業がスポーツに関わることの新しい方向性

- ・新しい価値の創出のための企業・地元・スポーツ団体三者共栄に向けた方策
- ・スポーツイベント、スポーツツーリズムの経済効果
- ・海外・国内での、スポーツによる地域振興事例
- ・【事例】五輪レガシーの活用：ロンドン 2012 の事例

## 2) スポーツイベントをテコとした価値創造のポイント

- ・スポーツイベントをテコとした企業の事業展開
- ・DMOとしてのスポーツコミッションとの協力関係の構築
- ・スタジアム運営による収益の多様化のポイント
- ・【事例】世界トライアスロンシリーズ横浜大会と協賛企業の関係

## 3) スポーツツーリズムをテコとした価値創造のポイント

- ・スポーツツーリズムによる人とモノを動かす仕組み作りの工夫
- ・インバウンド観光客を想定したスポーツツーリズムの構築と企業の関わり方
- ・【事例】スポーツ都市戦略による市場創造

## 4) スポーツマーケティングの発想

- ・オリンピックマーケティングとは？
- ・社会貢献的マーケティングの活動と国内外の事例
- ・【事例】五輪協賛企業に見るメリットの追及

## 5) 2020年オリンピックを見据えた企業の事業対応

- ・メガスポートイベントに伴うスポーツマーケティングのあり方
- ・アンブッシュ・マーケティングによるオリンピック対応
- ・2020年の後を見据えたスポーツイベントへの企業対応

17:00

※講師最新著書『スポーツ都市戦略：2020年後を見据えたまちづくり』（学芸出版社刊）  
を参加者に配布いたします。